

安全データシート (SDS)

作成 1995年6月30日
最終改訂 2024年4月17日

1.【化学物質等及び会社情報】

製品
製品の名称 アルセンパウダー 油と〜る

供給者情報
会社名 アルタン株式会社
住所 東京都大田区東糀谷3-11-10
マーケティング室 開発企画課

電話番号 03-3743-5705
FAX番号 03-3743-5706
緊急連絡先 同上

2.【危険有害性の要約】

GHS分類
物理化学的危険性
金属腐食性化学品 区分1

健康に対する有害性
急性毒性(経口) 区分4
皮膚腐食性・刺激性 区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 区分2 神経系
区分3 気道刺激性 麻酔作用

環境に対する有害性
水生環境有害性 短期(急性) 区分3

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、
上記以外の項目は、現時点で「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険
危険有害性情報 金属腐食のおそれ
飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
神経系の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き

【安全対策】 他の容器に移し替えないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護メガネ/保護面を着用すること。

【救急処置】

飲み込んだ場合
気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。
皮膚をシャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露・ばく露の懸念がある場合

医師に連絡すること。
いずれの場合も異常があるときは直ちに医師に連絡すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

人の健康に対する有害な影響

吸入した場合、鼻・喉・気管支・肺を刺激し、処置が遅れるとしわがれ声、咽喉部の灼熱感、激しい咳、肺浮腫を生ずる。
皮膚に付着した場合、強い刺激作用があり、処置が遅れると皮膚が侵され熱傷にいたる。低濃度溶液でも水分の蒸発により同様な症状を起こす。
眼に入った場合、激しい痛みを感じ、処置が遅れるとその程度によって結膜や角膜が侵され視力低下あるいは失明にいたる。
飲み込んだ場合、口腔・食道・胃部の灼熱感がある。濃い液を多量に飲み込んだ場合、処置が遅れると生命にかかわる。

環境への影響

大量に流出した場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

物理的及び化学的危険性

酸性物質と反応し中和熱を発生する。

3.【組成・成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物

成分及び含有量

化学名	含有量(wt%)	CAS No.	化審法番号	労働安全衛生法	PRTR法
ケイ酸塩	非公開	非公開	非公開	通知対象外物質	非該当
炭酸塩	非公開	非公開	非公開	通知対象外物質	非該当
エチレンジアミン四酢酸塩	8.3	非公開	非公開	通知対象外物質	該当
非イオン界面活性剤	非公開	非公開	非公開	通知対象外物質	非該当

4.【応急処置】

吸入した場合

粉塵やミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気の場合に移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。

目に入った場合

直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。
その後、直ちに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のない時は口から何も与えない。

いずれの場合も、医師への診察時には、製品または製品安全データシートを持参する。

5.【火災時の措置】

消火剤

水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。

特有の消火方法

本製品は不燃性物質であるが、周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。移動できない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。

消火を行なう者の保護

消火作業では、適切な保護具(手袋、メガネ、マスク等)を着用する。
消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置

保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスクなどの保護具を着用する。
保護具はいずれも不浸透性のものを使用する。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

雨水溝、河川、海上などに排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ほうきなどを用いてできる限り空容器などに回収する。
回収した跡、または回収できないものは、多量の水にて十分に洗い流す。
洗浄水は、酸(希硫酸など)で中和してから排水する。

7.【取り扱い及び保管上の注意】

取扱い(技術的対策/安全取扱い注意事項/接触回避/衛生対策)

作業や製品容器の取扱い時は必ず適切な不浸透性保護具
(保護眼鏡、保護手袋、保護靴、保護衣、保護マスク等)を着用する。
使用時は製品が飛散しないように丁寧に取扱う。
使用後は必ず水道水で十分に水洗いする。
移動・保管時は容器の口をしっかりと閉める。
飛散した粉塵やミストを吸い込んだり、眼に入らないようにする。
用途以外には絶対に使用しない。
他の薬剤、洗浄剤などとは絶対に混ぜない。
事故のおそれがあるので、他の容器に移し替えたり小分けしない。
倒したり、こぼしたりしないように注意する。
使い終わった容器は、十分に洗ってから処理する。
排水は中和処理する。

保管(安全な保管条件/安全な容器包装材料)

直射日光、40℃以上、多湿及び凍結のおそれのある場所を避けて密閉して保管する。
子供の手の届かないところに保管する。
酸性物質と同じ場所に保管しない。

8.【暴露防止及び保護措置】

管理濃度 設定されていない。
許容濃度 設定されていない。
設備対策 取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。
適切な排気換気装置を使用する。
保護具 呼吸器の保護具 保護マスク
手の保護具 保護手袋(ゴム手袋など)
眼の保護具 保護メガネ
皮膚及び身体の保護具 保護衣、保護靴(ゴム長靴など)

※ 保護具はいずれも不浸透性のものを使用する。

9.【物理的及び化学的性質】

物理状態	粉末
色	白色～淡黄色
臭い	特異臭
融点	データなし
沸点	データなし
可燃性	データなし
爆発限界	データなし
引火点	なし(不燃性)
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	12.5 (1%,25℃)
動粘性率	データなし
溶解度	水溶性
n-オクタノール/ 水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10.【安定性及び反応性】

反応性 酸性物質と反応し中和熱を発生する。
化学的安定性 通常の手扱い条件(屋内、常温)においては安定である。
吸湿性があり、水分や二酸化炭素などのガスを吸収しやすい。
水分を吸収すると固まる。
避けるべき条件 酸性物質との接触、直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態

避けるべき材料	すず、亜鉛などの金属 アルミニウム、銅、銅合金などは指定された濃度等以外での使用を避ける。
危険有害な分解生成物	データなし

11.【有害性情報】

急性毒性 (経口)	使用原料の加算式判定の結果より、区分4とした LD50:300~2000mg/kg
(経皮)	データ不足のため分類できない。
(吸入:ガス)	区分に該当しない(分類対象外)
(吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。
(吸入:ガス)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	製品のpHが11.5以上のため、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	製品のpHが11.5以上のため、区分1とした。
呼吸感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的毒性(単回暴露)	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有するため、区分2、区分3とした。
特定標的毒性(反復暴露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
その他	データなし

12.【環境影響情報】

生態毒性	流出した場合は水生生物に対して影響を及ぼす。
水生環境有害性 短期(急性)	使用原料の加算式判定の結果より、区分3とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	CODMn94ppm (0.1%水溶液,JIS K0102)

13.【廃棄上の注意】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。 廃棄処理をするときは適切な保護具を着用する。 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。
汚染容器・包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従い適正に処理する。必要に応じて、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする。

14.【輸送上の注意】

国際法規制	
国連番号	1759
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(固体)(他の危険性を有しないもの)
国連分類	クラス8(腐食性物質)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	ばら積み輸送されない製品のため対象外。
HSコード	3402.20
国内法規制	次の輸送に関する国内法規に該当するので、定められている輸送方法に従う。 危険物船舶運送及び貯蔵規則

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどが無いことを確認する。
 荷役作業は丁寧に扱い、容器を破損しないように取り扱う。
 積載にあたっては酸性物質との接触を避ける。
 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。
 直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態での輸送は避ける。
 水濡れを避ける。

15.【適用法令】

化学物質管理促進法(PRTR法)	第一種指定化学物質 管理番号:595(8.3%) エチレンジアミン四酢酸並びにそのK塩及びNa塩
毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	通知対象物質 該当しない
	表示物質 該当しない
	有機則 該当しない
	特化則 該当しない
	リスクアセスメント対象物質 該当しない
	皮膚等障害化学物質 該当
消防法	該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	腐食性物質
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律	該当しない
水質汚濁防止法/一律排水基準	
	健康項目 該当しない
	生活環境項目 該当する(水素イオン濃度(pH))
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物

16.【その他の情報】

記載内容の問い合わせ先
 アルタン株式会社
 住所 東京都大田区東糀谷3-11-10
 担当部門 マーケティング室
 電話番号 03-3743-5705
 FAX番号 03-3743-5706

改訂履歴

作成 1995年6月30日
 改訂 2006年3月29日
 改訂 2013年11月12日
 改訂 2015年1月19日
 改訂 2016年2月1日
 改訂 2020年3月3日
 改訂 2022年4月7日
 改訂 2022年5月25日
 改訂 2023年3月10日
 最終改訂 2024年4月17日

参考文献

GHS対応ガイドライン、(一財)日本化学工業協会(2019)
 JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学物質等の分類方法、(一財)日本規格協会
 JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)、(一財)日本規格協会
 GHS分類結果データベース、(独)製品評価技術基盤機構HP(NITE)
 GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報、厚生労働省職場のあんぜんサイトHP

注意

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には、

- 新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
 - ・ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。